

今回の点検内容

今回の点検では、倉淵・榛名・吉井地域の山間部を中心に、土砂崩れの痕跡や地面のひび割れ、斜面の異常などを中心に確認する他、河川の状況なども確認します。5月17日には、吉井町南陽台の斜面を富岡市長が視察。担当者や地元の区長から、傾斜地とその周辺の状況などについて説明を受けました。市長は「最近、全国的に土砂崩れが多い。地元の区長さんに実情を聞きながら、ドローンも活用してしっかり対応していきたい」と話しました。点検の結果、危険性が高い箇所については、早急な対応を行っていきます。

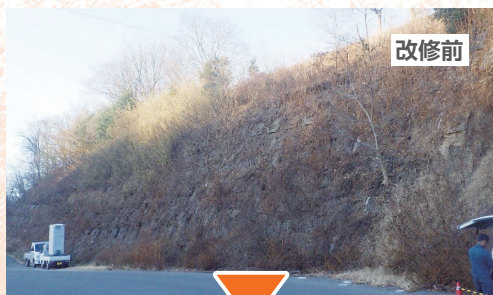
点検にドローンも活用

点検には、遠隔操作で上空から動画や写真を撮影できるドローンも活用します。ドローンの使用により、危険な高所での作業を回避したり、今までと異なる視点から点検したりすることが可能になります。目視に加えて上空からも確認することで、傾斜地や河川、水門などをより詳細に点検します。



これまでの成果

モルタルの吹き付け工事などを行った斜面
(吉井町岩崎)



市はこれまで、水害や土砂災害の防止をテーマに、危険箇所の点検を行ってきました。昨年は、河川や水路、土砂災害の危険箇所などを点検。河川や水路、護岸や水門などに堆積した土砂や立木など障害物の撤去や、山間部の大規模開発地や水路の改修などの、さまざまな対策を行いました。国や県が管理する道路についても対応を要望。その結果、斜面の工事などの対策につながりました。

地元の区長さんに聞きました

吉井ブロック区長会長 塚田 芳則さん

中山峠周辺は地盤がもろい所があり、土砂崩れが起こりやすい斜面が多くあります。昨年の点検の結果、危険な箇所にはモルタルの吹き付けなどで崩落防止の対策をしてもらいました。災害はいつ起こるかわかりません。今年も引き続き丁寧に点検と対策を実施してもらえると、住民も安心できますね。



その他の災害への取り組みについて、次のページでお知らせします

危険箇所総点検などでもしもの災害に備える

市民の安心・安全を守ります

集中豪雨や台風による土砂崩れや道路の冠水、河川の氾濫などの災害が、全国で毎年発生しています。災害はいつ起こるか分かりません。市は、こうした自然災害から市民を守るため、市内をくまなく点検する危険箇所総点検や、電話やファクスを使った災害情報の発信などの対策に取り組んでいます。

今回号では、市が行う災害に備える取り組みについてお知らせします。問い合わせは、防災安全課 (☎ 027-321-1352) へ。



排水路内部の土砂の堆積状況やひび割れを点検



斜面のひび割れや傾斜の状況を確認

危険箇所総点検を実施

職員延べ1652人を動員

平成26年から実施している「危険箇所総点検」。集中豪雨や台風などに備え、あらかじめ市内をくまなく点検し、必要な対策を講じるものです。近年、全国各地で土砂災害が発生していることを受け、今年は一倉淵・榛名・吉井地域の山間部の土砂災害に関する点検をテーマに実施します。土砂災害を防ぐため、倉淵・榛名・吉井地域の山間部を中心に、土砂崩れの痕跡や地面のひび割れ、斜面の異常などについて重点的に点検します。

点検は、5月17日から2か月をかけて実施。約1300箇所を、職員延べ1652人を動員し点検します。点検の結果、対策が必要な箇所は、改修工事や障害物の撤去、施設管理者などへ改善の要請や指導を行っていきます。

また、河川の氾濫を防ぐため、過去に浸水被害のあった地区を中心に、河川や用排水路などの点検も実施。土砂の堆積状況や河川内の立木、堤防や護岸の破損箇所などを確認します。



浸水被害防止を図るため新町・吉井地域に排水施設を整備



浸水時に溜まった水を川などに排水する訓練を実施

令和4年度 予算の 執行状況

昨年4月から今年3月まで1年間の予算の執行状況をお知らせします。執行状況は令和5年3月31日現在のものです。出納整理期間中(4～5月)に収入・支出となるものもあるため、令和4年度の決算額ではありません。詳細は、市ホームページに掲載しています。問い合わせは、財政課(☎027-321-1214)へ。

一般会計 福祉や教育など、市民の生活をより良くするために行う事業の会計です。

歳入 ■ 予算額 1,872億8,535万円
■ 収入済額 1,665億3,484万円
収入率 88.9%

区分	収入済額	収入率
市 税	627億7,884万円	100.9%
国庫支出金	346億8,140万円	93.7%
貸付金収入等	188億7,286万円	78.6%
地方交付税	144億2,756万円	102.3%
その他	357億7,418万円	71.6%

市民1人当たりの市税額 17万544円/年

歳出 ■ 予算額 1,872億8,535万円
■ 支出済額 1,610億8,542万円
支出率 86%

区分	支出済額	支出率
民生費	617億9,604万円	91.4%
商工費	207億1,625万円	79.9%
衛生費	168億6,514万円	70.3%
総務費	156億4,268万円	82.2%
教育費	131億4,048万円	90.4%
その他	329億2,483万円	91.1%

特別会計

特定の事業を行う会計です。

区分	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	353億8,581万円	328億384万円	322億9,510万円
介護保険	368億9,741万円	365億895万円	330億7,145万円
後期高齢者医療	55億3,139万円	51億1,851万円	47億8,028万円
牛伏ドリームセンター事業	1億1,349万円	1億980万円	8,566万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	8,932万円	1億1,028万円	2,138万円
農業集落排水事業	1億4,822万円	3,638万円	1億2,038万円

一部事務組合

他の団体などと共同で事務処理を行う会計です。

区分	予算額	収入済額	支出済額
高崎工業団地造成組合	43億3,890万円	41億8,342万円	35億9,749万円
高崎市・安中市消防組合	48億6,797万円	46億4,163万円	44億3,878万円

市の保有財産

●土地=1,821万㎡(山林や公園など) ●建物=143万㎡(学校や公営住宅など) ●基金=248億4,390万円(財政調整基金、国民健康保険基金など) ●有価証券ほか=35億7,306万円

市債額(長期借入金)

●一般会計=1,409億3,295万円 ●特別会計=3億4,252万円

公営企業

市が経営する上水道・下水道事業の会計です。

上水道事業

予算の執行状況

収入		支出	
予算額	111億7,035万円	予算額	103億6,625万円
収入済額	106億2,404万円 (収入率95.1%)	支出済額	97億2,056万円 (支出率93.8%)

財産の状況

資産	固定資産	負債	固定負債	174億1,560万円
			流動負債	25億5,306万円
	570億5,158万円		繰延収益	107億4,114万円
資産	流動資産	資本	資本金	262億7,541万円
	82億5,564万円		剰余金	82億9,348万円
			評価差額等	2,855万円

下水道事業

予算の執行状況

収入		支出	
予算額	160億5,538万円	予算額	151億563万円
収入済額	150億8,332万円 (収入率93.9%)	支出済額	139億8,837万円 (支出率92.6%)

財産の状況

資産	固定資産	負債	固定負債	339億4,011万円
			流動負債	43億3,135万円
	1,145億891万円		繰延収益	410億192万円
資産	流動資産	資本	資本金	333億3,198万円
	81億7,032万円		剰余金	100億7,387万円

本市が行う災害への取り組み

登録者に防災情報を発信

災害時電話・FAX サービス

市は、「災害時電話・FAX サービス」を行っています。これは、高齢者や障害のある人を対象に、市が発令する避難指示など災害時の避難に関する情報を、電話やファクスでお知らせするものです。高齢者など避難の手助けが必要な人やその周囲の人に、情報を確実に伝えること・早めの避難行動につなげて逃げ遅れを防ぐことが目的。対象は、65歳以上の人が障害者手帳を持っている人と、その家族です。



メールやSNSが苦手な人などは、ぜひ利用してください。

申し込みは、市役所7階防災安全課、1階障害福祉課、2階長寿社会課、各支所市民福祉課にある申込書に記入して、同課へ。

他にもさまざまな方法で情報を発信しています

市は、安心ほっとメールやホームページ、防災情報ツイッターや防災情報フェイスブック、ラジオ高崎(76.2MHz)、群馬テレビのデータ放送で防災情報を発信しています。これらを活用して、避難や気象の情報を確認してください。

自力で避難できない人は連絡してください

公用車やバスを使って避難を手助け

避難が必要になった時、自力で避難することができない人は「高崎市の災害専用電話」に連絡してくだ

さい。公用車やバスが迎えに行きます。本人の他、周囲の人でも手助けが必要な場合は電話してください。

自力で避難できない人は… **高崎市の災害専用電話**

☎027-321-5000

資機材の購入や防災訓練の経費などに助成します

自主防災組織による防災活動を後押し

自主防災組織は、地域の住民たちがつくる防災組織です。「自分たちのまちは自分たちで守る」という考えの下、地震などの災害が発生した時に地域が連携して対応し、緊急の避難や安否確認、避難先での救援物資の配布などをスムーズに行うためのものです。

市は、自主防災組織に対して支援を行っています。組織を結成した時に、資機材の購入に最大20万円を、また、防災訓練の経費などに年に1回最大10万円を助成しています。詳しくは、防災安全課(☎027-321-1352)へお問い合わせください。



箕郷町今宮自主防災会副会長
友野 亘さん

私たちの自主防災会では「災害はいつか必ず起こる」「自分の命は自分で守る」を合言葉に活動しています。訓練には多くの住民の皆さんが参加し、消火器の使い方や緊急搬送などを体験します。こうした活動が市内でもっと活発になると安心ですね。